

令和5年度山梨県森林総合研究所「森の教室」運営会議結果のお知らせ

会議の名称	山梨県森林総合研究所「森の教室」運営会議
日 時	令和6年2月27日（火） 13:30～15:00
場 所	山梨県森林総合研究所 森の教室 学習室
出席者	<p>(委員) 長池卓男(座長)、望月隆、小田切英史、萬木敏樹</p> <p>(事務局)</p> <p>(公財) やまなし文化学習協会：事務局長、「森の教室」管理責任者</p> <p>森林総合研究所：所長、次長、主任研究員（1）</p> <p>森林政策課：森林企画監</p>
次 第	<p>1. 次 第</p> <p>1. 1 報告事項</p> <p>(1) 森の教室行事等の実績</p> <p>1) 行事と参加人数</p> <p>①クラフト</p> <p>②木工工作</p> <p>③自然観察</p> <p>④体験学習</p> <p>2) 展示室等の写真展・特別展示</p> <p>3) 移動巡回展示</p> <p>4) アンケート調査結果</p> <p>(2) 森の教室利用状況</p> <p>1) 森の教室利用状況（全体）</p> <p>2) 工作室利用状況</p> <p>3) 年度別利用者</p> <p>(3) 出前講座等の実績</p> <p>(4) 森の教室展示品の状況</p> <p>(5) 令和4年度第2回運営会議でのご意見と取り組み</p> <p>1. 2 審議事項</p> <p>(1) 令和6年度事業計画</p> <p>1) 森の教室主催事業の予定</p> <p>2) 展示室等の写真展・特別展の予定</p> <p>3) 通年工作の予定</p> <p>4) 期間限定工作の予定</p> <p>5) 移動巡回展示の予定</p> <p>6) 出前講座等の実施内容</p> <p>1. 3 その他</p>

<p>意見等</p>	<p>2. 委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20代の利用者が少ないというなかで、今ソロキャンプが流行しているので、ウッドストーブは家族連れ以外の若い青年も取り込めるように工夫をすると良いと思われる。また、災害という観点からもウッドストーブはすごく良いと思われる。 ・20代の参加には、県内の大学と連携し、野外研修みたいなもので使ってもらえるようなことをすれば、20代の人たちを増やせると思われる。 ・夏休みの時期に自由研究に絡めて植物標本を作るような講座を開催すれば、利用者がもう少し増えると思われる。 ・夏休みの自由工作の中で、板などを使ったパチンコのような玩具作製などのをいれると子供たちは飛びついてくると思われる。 ・自然観察で人数が少ないところは、6月10日や11月18日の開催なので、夏休みとか長期休暇に合わせると人数がたくさん来てくれると思われる。 ・ポスターにQRコードと「素敵な作品をSNSで上げてください」を掲示し、森の教室のホームページや申し込み予約に繋がるとかをすればかなり効果があると思われる。 ・絵手紙は人数的にいっぱい集まるイベントではないが、好きな方もいるので、来年度は開催しなくても今後復活させるとそれなりに関心をもってもらえると思われる。 ・利用者には家族連れが多いので、家族連れにうまく関心を持ってもらえるような施設になればよいと思われる。 ・森林の学習で子供たちの興味関心を引きつけるために、写真とかはあるが、物を見せて触るとか感覚に訴えることがなかなかできないので、木材の標本などの貸し出しセットを用意してもらい、チラシ等でアナウンスしてもらえれば必要とする先生も多いと思われる。 ・出前講座のメニューリストで鹿とか獣害はあるが熊がない。北海道は授業で子供たちに教えているので、出前講座の内容として入れてもらえると思う。 ・夏休みでの子供たちの自由研究に向けた支援とか、研究所で出来れば夏の自由研究相談会のような形で自由に相談やアドバイスを受けられる機会があれば、おそらく子供たちがたくさん参加すると思われる。
<p>お問い合わせ先</p>	<p>山梨県森林総合研究所 「森の教室」 運営会議 事務局 三枝 茂 電話番号：0556-22-8001 ファックス番号：0556-22-8002</p>